

新年あけましておめでとうございます



会頭
白谷 喜世彦 氏

あけましておめでとうございます。

新型コロナ感染者が確認されてから4回目の正月を迎えることになりました。これまで私たちは、資本主義と民主主義によって生活の豊かさを手に入れてきました。ところが、この30年どうもおかしい。一生懸命やっても思うようにならないことが増えてきました。そして、コロナの感染拡大やウクライナ戦争がきっかけとなってそれまでの考え方、遣り方では何ともならないようになってきました。環境問題、少子高齢化、医療・年金の問題、貧富の格差拡大と数え上げればきりがありません。ほんまにうまいこといく理由が全く変わったようです。いままでの成功モデルのいいものを安く大量にたくさんの人に、というビジネスモデルは圧倒的なグローバル企業、大企業でしか通用しなくなりました。では地域の中小企業はあかんのかというと、それとは違う、人々に寄り添い、心の満足をもたらすことが求められているようです。単に安くて、いいものではなく、自分の考えに共感してくれる消費者が求めるものを創り、伝えていくことが必要です。同時に、人と人のつながりということも、より重要になってくるでしょう。そこで、会議所はこのようなモノづくりと人とのつながりのきっかけのお手伝いをしています。これがみなさんの自助と共助への応援です。また、いまいろいろな形の行政からの産業支援が増えてきています。このような公助をしっかりと受取り、これを使って自立していけるようにみなさんへの応援もしていきます。そして、経営を取り巻く、税務や労務、会計などが複雑になり、それなりのスキルが必要となってきました。このような変化に対応するお手伝いもさせていただきます。こうして、みなさんに必要とされる会議所となるよう会員・議員・職員一緒になって遣っていかようと思っています。どうか会議所活動に参加していただき、一緒に未来を拓いていきませんか。



市長
南出 賢一 氏

新年あけましておめでとうございます。旧年中は市政各般にわたり、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年は長引くコロナ禍において、泉大津市制施行80周年を迎え、だんじりパレード、泉大津フェニックス市民にぎわいフェスティバルなど様々な記念事業を実施してまいりました。社会課題が多いなか、「官民連携・市民共創」を基本理念のもと、商工事業者の皆様や商工会議所の皆様に多方面でご協力、ご活躍いただき、ともに80周年を盛り上げてくださったことを心より感謝申し上げます。

泉大津市では激動の時代を見据えて、新たな産業振興ビジョンの策定に向けて動き出しました。また、令和5年度はシーパsparkの共用開始、令和6年度には(仮称)新泉大津市立病院の開院と本市を未来へつなげる事業が展開されます。

そして、2025年の「大阪・関西万博」に向けて、関西地域には大きく飛躍するチャンスが到来しております。時代の変化に臆することなく、「将来に希望がもてる、元気な泉大津」の実現に向け、本市の成長の芽となる産業や地域経済がより多くのチャンスを掴めるよう、白谷会頭はじめ、商工会議所の皆様と一緒に挑戦してまいりたいと考えておりますので、今後ともご理解とご協力をお願い申し上げます。

結びにあたり、泉大津商工会議所の益々のご発展と、本年が皆様にとって素晴らしい一年でありますよう心からご祈念申し上げ新年のご挨拶といたします。



広報委員長
西川 博之 氏

新年あけましておめでとうございます。

昨年はたくさんの方々に会議所ニュースをご購読いただき誠にありがとうございました。また、掲載にご協力いただいた事業所の皆様にも改めて感謝申し上げます。

さて、会議所ニュースは昨年4月にデザインの刷新を行い、さらにより見やすい、より親しみやすいニュースを目指し広報委員会にて試行錯誤を繰り返しております。泉大津の「地元グルメ」や「新規開業のお店」などを画像で大きく分かりやすく掲載する形にリニューアルをした結果、おかげさまで徐々に反響が大きくなっていることが実感出来るようになり大変嬉しく思っております。

本年は商工会議所が持っている事業所様とのネットワークを最大限に活かし、旬な情報をタイムリーに会議所ニュースをはじめ、ポータルサイトの「泉大津ドットコム」、FM番組「おづのツボ」とも連携をより強化し皆様にお届け出来るよう取り組んでまいりたいと思います。

泉大津市民の皆様にとって有意義で、そして価値ある情報を会議所ニュースがお届けすることにより、泉大津の事業所様と共に地域経済の発展への繋がる会議所ニュースになっていきたいと考えております。本年も泉大津市民の皆様の一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。